

2011年(平成23年)8月期

財務状況や事業に関する事項

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

債権区分	平成23年8月末	平成23年2月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	222	229	△7
危険債権	307	322	△15
要管理債権	99	104	△5
正常債権	25,366	26,119	△753
合計	25,996	26,776	△780

(注) 平成23年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 各債権区分額は、平成23年2月末時点の債権額を基準として、平成23年8月末時点の残高に修正しています。
- 平成23年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2 単体自己資本比率(国内基準適用)

平成23年8月末	平成23年2月末
15.76%	16.22%

3 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	平成23年8月末	平成23年2月末	平成22年8月末
貯金	94,432	83,743	89,462
貸出金	24,348	25,153	26,667
預け金	62,407	50,708	58,573
有価証券	6,875	7,013	5,394

4 有価証券時価情報

【有価証券】

(単位:百万円)

区分	平成23年8月末			平成23年2月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	6,776	6,875	99	6,975	7,013	38
合計	6,776	6,875	99	6,975	7,013	38

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等によっております。
 2. 取得価格は取得原価または償却原価によっております。
 3. その他有価証券については時価を貸借対照表価額としております。

【金銭の信託】

該当する取引はありません。

半期開示



地域貢献活動

地域貢献の全般に関する事項

(1) JAみちのく安達は、二本松市、本宮市、大玉村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組合組織であり、豊かな自然の中で育まれる地域農業を基盤とした地域づくりに資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、暮らしを支える事業として、食農教育の展開、健康管理活動を中心とし、地域の協同組合として社会貢献に努めています。

(2) 組合員数 17,807 人（平成 23 年 8 月末現在）

(3) 出資金 2,970 百万円

1、地域からの資金調達の状況

(1) 貯金並び定期積金残高 94,432 百万円

(2) 貯金商品

スプリングキャンペーン、ナツトクキャンペーン、ホクホクキャンペーンを実施し、定期貯金、定期積金のご契約者に対して“ちょきんぎょ”グッズをプレゼント。また、正月限定の干支貯金箱プレゼントなど、幅広いお客様に好評をいただいております。



2、地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高 24,348 百万円
内 正組合員 10,123 百万円
准組合員 5,404 百万円
地方公共団体等 6,804 百万円
その他 2,017 百万円

(2) 制度融資取扱い状況

日本政策金融公庫【国民生活事業資金】（お子様の進学資金として、幅広くご利用いただけます。）

日本政策金融公庫【農林水産事業資金】（農業経営の規模拡大と安定をめざすため、農地などを取得・改良する際の資金です。）

住宅金融支援機構資金（マイホームの新築・購入・増改築資金としてご利用いただけます。）

農業近代化資金（農業経営の近代化のため、施設の築新築や各種農機具を購入する際の資金です。）

(3) 融資商品

地域農業者に対する資金として、【営農ローン】・【アグリマイティーマネージメント資金】等を取扱いしております。

3. 文化的・社会的貢献に関する事項(地域との繋がり)



(1) 文化的社会的貢献に関する事項



食農教育への取組み



小学生を対象に、「ちびっこ農業大学」を開校し、食物についての実験、米・野菜等に関するクイズ、調理体験、牛乳パックを使った工作など、農業に関する勉強で、食の大切さを学び、たくさんの思い出でづくりの場を提供しています。

また親子との交流を深めるレクリエーション大会などを実施しています。さらに今年も、ちびっこ農業大学参加者の母親を対象とした「ちびっこ農大ママスクール」を開催しています。



地産地消の取組み

J Aの直売所(こらんしよ市)では野菜や加工品などを販売しております。6月からは、仮設住宅入居者を対象に生活の利便性や高齢者世帯の生活を「食」で支援するため、移動販売を実施しています。

学校給食用としても、地元の米を使った米粉パンを提供したり、管内の幼稚園に米粉ケーキをプレゼントしました。



元気高齢者福祉活動

「元気な茶の間」をしらさわ・あだちの2会場で月2回開催。地域のお年寄りを中心に子ども達との交流や、レインボー体操、講演会など様々な活動を行っています。



AEDの設置

J Aみちのく安達では24施設にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。職員は管内の消防署で、心肺蘇生、AEDの使用方法を学び、受講者は「普通救命講習終了書証」を取得致しました。

平成23年8月末現在取得職員 145名



認知症サポーターの取組み

J Aみちのく安達では役職員全員が認知症サポーターになる為研修を行いました。オレンジリングは認知症サポーターの目印です。

平成23年8月末現在取得職員 348名



自然塾・レディース講座

郷土料理や保存食作りなどを勉強する「自然塾」、女性部大会・家の光大会参加や文化講座等を行っている女性部のレディース講座は部員や地域の皆さんとの交流、郷土文化の継承などに貢献しています。



環境問題への取り組みや美化運動の取り組み

年間を通じて廃油の回収運動、支店を中心とした地域美化運動を実施しております。年2回農業用プラスチックの回収や、期限切れ・登録失効の農薬の回収を実施しております。



(2) 利用者ネットワーク化への取り組み



年金友の会・助け合い活動

JA年金友の会では、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、親睦旅行などの活動を展開し、年金受給者や地域組合員・利用者の健康と生きがいづくりに取り組んでいます。また、65歳以上の一人暮らしの高齢者にふれあいグループによる手作りのお弁当を届けたりと助け合い活動に積極的に取り組んでいます。



(3) 情報提供活動



JA広報誌の発行

広報誌「よもう」を毎月発行。組合員へ配布して営農・生活情報や地域情報、JAからのお知らせを掲載しています。また、より身近な情報を提供する支店だよりを毎月各支店から発行しています。さらに地域の皆さまへのコミュニティー誌「ほっとすまいる」を8月に新聞折り込みにて発行しました。



ホームページによる情報提供

ホームページでは当JA管内の農産物紹介や信用・共済の各種商品のご案内、またディスクロージャー誌など、さまざまな情報を閲覧できます。

JAみちのく安達ホームページ <http://www.ja-michinokuadachi.or.jp/>

その他、各種相談会・交通安全教室の開催、ポスターコンクール等の呼びかけなどたくさんの活動を行っております。

